

南アフリカ：「政権与党や地方権力者の施策に反対意見を表明した者への攻撃」に関する情報

南アフリカの「政権与党や地方権力者の施策に反対意見を表明した者への攻撃」に関する調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、関連する情報として以下の情報が見つかりました。

1. 反汚職活動家、居住権運動家、人権活動家に対する攻撃 1
2. 批判的な報道をするジャーナリストに対する攻撃 4
- 参照： 6

1. 反汚職活動家、居住権運動家、人権活動家に対する攻撃

ア 米国国務省「[人権状況報告 2020年 南アフリカ](#)」（2021年3月30日）

第1部 以下の状況からの自由を含む、個人の人格の尊重

A. 恣意的な生命の剥奪及びその他違法な、又は政治的動機に基づく殺害

...

裁判では、政治的暴力の加害者に有罪判決が下されることはほとんどなかった。メディアやNGOは、殺人事件の大半は、地方レベルでのアフリカ民族会議（ANC）の党内抗争に起因し、資源をめぐる競争や、汚職を暴いた内部告発者への復讐を背景とすることが多いと述べている。

...

第3部 政治プロセスに参加する自由

選挙と政治参加

...

政府の政策を批判する民間企業を政府高官がボイコットすると公然と脅迫したとの報告もある。

...

イ フリーダムハウス「[世界の自由 2020年版 - 南アフリカ](#)」（2021年）

D 表現および信条の自由

...

D4 政治的なテーマやその他の繊細なテーマについて、個人が監視や報復の恐れなしに個人的な見解を表明する自由があるか？ 4/4

南アフリカ人は、一般的に、政治的な内容の個人的な会話を、嫌がらせを受けることなく自由に行うことができる。しかし、国連人権委員会の2016年の報告書では、政府による監視の利用や、監視を規定する法律のRICA法について懸念が示されている。2019年9月、高等裁判所は、RICA法の一部が違憲であることを認めた。その理由は、特に、傍受された市民間の私的な通信、国家機関が濫用することに対する十分な安全措置がないためであった。国会はこの欠陥を修正するために2年間の猶予を与えられた。2020年末時点で、この判決に対する国側の上訴は係属中であった。

ウ [アムネスティ・インターナショナル「南アフリカ：南アフリカにおける主な人権問題。国連普遍的定期的審査へのアムネスティ・インターナショナルの提出物、2012年5月～6月」 via refworld \(2012年2月7日\)](#)

人権活動家に対する脅迫や嫌がらせ、表現の自由の侵害

人権活動家や政府批判者の活動に対する嫌がらせや犯罪化が増加している。人権活動家には、個人やジャーナリスト、法定人権機関の職員のほか、アバラリ・ベースムジョンドロ〔Abalali baseMjondolo〕（掘っ立て小屋居住者）運動など、経済的・社会的権利へのアクセスを促進するコミュニティに基盤を置く組織も含まれる。

2011年7月、居住権運動「アバラリ・ベースムジョンドロ」の支援者12人が、国が起訴したすべての容疑について無罪判決を受けた。その内容は、2009年9月にケネディ通り〔Kennedy Road〕のインフォーマルな居住区で起きた暴力事件に関係する殺人、殺人未遂および暴行であった。裁判所は判決の中で、「国の起訴事実には多くの矛盾や齟齬があり」、被告人を特定する信頼できる証拠がないことを指摘した。また、裁判所は、警察が一部の目撃者に対して身元確認の判定でアバラリ関連団体のメンバーを示すように指示していたことを認めた。年末の時点では、2009年に家が略奪・破壊されて避難していたアバラリの支援者らが安全に帰還して住居を再建することができていなかった。

2011年11月に国会下院で可決された「国家情報保護法案」は、機密情報の保持や公開を犯罪とするものである。当法案に対して、メディアを含む何百もの市民団体が反対運動を展開している。当法案では、国家の機密情報の収集、通信、受信、またはそのような情報を持つ人物を「匿う」ことなど、さまざまな犯罪に対して、3年以上25年以下の禁錮刑が規定されている。当法案は、上院での審議に送られたが、「実質的かつやむを得ない事情」がある場合には裁判所はより刑を減じることができるが、公共の利益を理由とした明示的な明確な防御は含まれていない。反対運動を受けて、当局者による違法行為を意図的に隠すために国家機密情報に分類することを処罰の対象とするなど、当法案が国会で可決される前にいくつかの変更が加えられた。そのほかにも、当局者の汚職やその他の不正な行政行為を公に知られないための文書の機密化に対しては、まったく不透明かつ不確実な救済措置が含まれているなど、懸念事項は解消されていない。当法案はまた、国家安全保

障機関を監査と説明責任から守っている。

エ 英国内務省「[出身国情報報告 - 南アフリカ](#)」 via refworld (2010年7月9日)

13. 政治的な所属

...

結社および集会の自由

13.03 米国国務省 2009年報告は次のように報告している。「法律は結社の自由を規定しており、政府はこの権利をおおむね尊重していた。憲法と法律は集会の自由が規定しているが、(2009年の) 年間にいくつかのデモが警察によって強制的に排除され、負傷者が出た。」

13.04 フリーダムハウスは、2010年6月1日付け「世界の自由 2010年 - 南アフリカ」で 2009年の出来事について次の通り述べている。

「結社の自由や平和的な集会の自由も憲法で保障されており、南アフリカには活気ある市民社会があり、抗議文化が根付いている。非政府組織 (NGO) は自由に登録し、活動することができる。立法議員は、審議中の法案について NGO からの意見を繰り返し受け入れている。最近の住宅、電気、水道などの公共サービス提供のペースと範囲をめぐる抗議運動は、2009年、特に冬季の間に、規模と暴力の両面で大幅に拡大した。警察は抗議運動を鎮圧するためにゴム弾や放水を使用した。」

...

オ [ACLED データベース](#) (2021年6月14日閲覧)

ACLED データベースの「期間：2018年6月15日～2021年6月14日」、「対照国：南アフリカ」、「出来事の種類：市民への攻撃」の検索結果から、市民活動家に対する攻撃データを抜粋したところ、次の情報が見つかりました。

- ◆ 2020年10月22日、Richards Bay (クワズール・ナタール州 [KwaZulu-Natal] uThungulu 郡) 周辺のアフオンドウェニ [Ophondweni] の自宅で、反鉱山活動家の女性が身元不明の襲撃者らに銃撃されて死亡した。(ACLED Event ID : SAF13749、情報源 : GroundUp)
- ◆ 2020年7月29日、Copesville (クワズール・ナタール州 uMgungundlovu 郡) で、反汚職活動家で内部告発者が、以前にサービス提供に関する抗議デモを理由に逮捕されていたが、区議会議員に対する措置を要求していたところ、警察に暴行されたと報じられた。(ACLED Event ID : SAF13115、情報源 : Witness)
- ◆ 2020年2月6日、Umlazi (クワズール・ナタール州 eThekweni 郡) で、LGBTQI 活動家がヘイトクライムと疑われる事件で刺殺された。(ACLED Event ID : SAF12272、情報源 : Sunday Tribune (South Africa) ; EWN)
- ◆ 2019年10月26日 反汚職活動家の Thabiso Zulu が Pietermaritzburg の Copesville

で身元不明の襲撃者らによる銃撃を受け、病院に搬送された。(ACLEDEvent ID : SAF11838、情報源 : Daily Sun (South Africa))

- ◆ 2019年8月14日、Stellenbosch郊外のKayamandi(西ケープ州Cape Winelands郡)で、複数の土地占拠を主導したコミュニティ活動家が、サービス提供のデモ行進の予定日の前日に、何者かによって致命傷となる銃撃を受けた。(ACLEDEvent ID : SAF12555、情報源 : Front Line Defenders)
- ◆ 2019年3月23日、SWEAT権利活動家がGreenpoint(西ケープ州ケープタウン市)の自宅で何者かによって殺害された。(ACLEDEvent ID : SAF12554、情報源 : Front Line Defenders)
- ◆ 2月10日、EFF(経済自由戦士)党の活動家女性が、Khayelitshaの自宅で殺害された。(ACLEDEvent ID : SAF10658、情報源 : News24 (South Africa))
- ◆ 2019年2月9日頃、Khayelitsha(西ケープ州ケープタウン市)の自宅で、EFF党の活動家女性が身元不明の者らによって致命傷となる銃撃を受けた。(ACLEDEvent ID : SAF12553、情報源 : Front Line Defenders)

2. 批判的な報道をするジャーナリストに対する攻撃

ア 米国国務省「[人権状況報告 2020年 南アフリカ](#)」(2021年3月30日)

第2部 市民の自由の尊重

A. 報道の自由を含む表現の自由

...

暴力と嫌がらせ：報道を理由にしてジャーナリストが当局から暴力や嫌がらせ、脅迫を受けた事例があった。例えば、8月には、ANCの国会議員であるBoy Mamaboloが、新型コロナウイルス感染蔓延の緩和策としてアルコール飲料の販売を禁止するという政府の決定に関して同氏が軽蔑的な発言をしたという疑惑に関連した調査報道ジャーナリストに対し、言葉で侮辱し、銃で撃つと脅迫したことが記録されている。3月には、ロックダウン規制に違反した集団を解散させるために警察がゴム弾を発射したことを報道し始めたヨハネスブルグのニュース24の記者に対し、警察が発砲した。SANEFは、この事件について正式に告発したと伝えられている。

...

イ フリーダムハウス「[世界の自由 2020年版 - 南アフリカ](#)」(2021年)

D 表現および信条の自由

D1 自由かつ独立したメディアはあるか? 3/4

表現と報道の自由は憲法で保護されており、実際にはおおむね尊重されている。南アフリカには、表現の自由を侵害しようとする政府の動きに対抗する独立した市民団体など、活気に満ちた対抗的なメディアが存在している。2017年には、グ

プタ〔Gupta〕一族に関連した汚職や、英国の広報会社ベル・ポッティンジャー社〔Bell Pottinger〕の南アフリカにおける人種的緊張の扇動への関与を暴く上で、メディアが重要な役割を果たした。

その一方で、ジャーナリストは批判的な報道に対して嫌がらせを受けたり、時には攻撃を受けたりすることもあり、政府や野党は国営および独立系の報道機関に圧力をかけている。2020年3月、政府は2002年災害管理法に基づく新たな規制を可決したが、その中には新型コロナウイルス感染症蔓延に関する偽情報を犯罪とするものも含まれていた。報道の自由に関する独立した監視機関であるジャーナリストを守る委員会（CPJ）は、この規制が正当な報道機関のさらなる検閲に利用される可能性があるとして警告した。5月には、週刊モホカレニュース誌〔Mohokare News〕の編集者であるジャーナリストの Paul Nthoba が、新型コロナウイルスのロックダウン措置執行のためにパトロール中の警官4人を撮影したところ、警察から嫌がらせを受け、暴行を受け、拘束された。Nthoba は、災害管理法の新型コロナウイルス感染症規定に基づいて起訴された。

ウ ジェトロ・アジア経済研究所／牧野久美子「[時事解説：2019年総選挙を控えた南アフリカの政治情勢](#)」（2019年4月18日）

主要野党のマニフェスト

…

…また最近では、EFF 党指導層によるジャーナリストへの攻撃も目立ち、EFF 党に批判的な報道を威圧的に抑制しようとする姿勢がみられる。

5 最近の一例として、EFF 党首のマレマが3月上旬に、ベテラン女性ジャーナリストのカリマ・ブラウン（Karima Brown）のプライベートな電話番号を自身のツイッター・アカウントで公開し、結果としてブラウンが EFF 党支持者とみられる人びとからレイプや殺人の脅しを含む多数の脅迫を受けるといった事件があった。ブラウンは本件に関して警察に告発を行うとともに、選挙委員会に不服を申し立てたと報じられている。…

エ 英国内務省「[出身国情報報告 - 南アフリカ](#)」 via refworld（2010年7月9日）

14. 言論およびメディアの自由

…

14.03 2010年4月に発表されたフリーダムハウスの報告書「岐路にたつ国々2010年：国別報告 - 南アフリカ」では、南アフリカには一般的に高度の表現の自由がある一方で、「ANC と国家公務員が代わるがわるメディアの批判や汚職に関する報道に敏感になり、ダメージを与える報道を防ぐためにいくつかの報道禁止命令や訴訟を開始した」と見られている。政府はまた、批判的な新聞社から広告

を撤退させると脅している。」

オ 国境なき記者団 (RSF) [「南アフリカの記者らが抗議デモの取材で攻撃を受け、報道機関はジャーナリストらを停職に」](#) via refoworld (2016年6月24日)

...

メディアの報道によると、今週、与党アフリカ民族会議 (ANC) の支持者らが首都およびその周辺の街頭で ANC 指導部に対する抗議活動を行い、少なくとも 5 人が死亡し、約 200 人が逮捕された。警察とデモ隊は、抗議活動を撮影していた記者を脅したり、攻撃したりしたと報道されている。この間、南アフリカ放送局 (SABC) は暴力行為の映像の放映を避けているが、南アフリカの報道の自由グループから反発の声が上がっている。

...

以上

参照：

(報告書等)

米国国務省「2020 Country Report on Human Rights - South Africa [人権状況報告 2020 年南アフリカ]」(2021年3月30日)、online : <https://www.state.gov/reports/2020-country-reports-on-human-rights-practices/south-africa/>

フリーダムハウス「Freedom in the World 2020 - South Africa [世界の自由 2020 年版 - 南アフリカ]」(2021年)、online : <https://freedomhouse.org/country/south-africa/freedom-world/2021>

ジェトロ・アジア経済研究所

_____. 佐藤千鶴子「時事解説：2016年南アフリカ地方選挙-大都市自治体を巡る攻防-」ジェトロ・アジア経済研究所『アフリカレポート』2016年 No.54、pp.135-141、online : https://www.jstage.jst.go.jp/article/africareport/54/0/54_135/article/-char/ja/

_____. 牧野久美子「時事解説：2019年総選挙を控えた南アフリカの政治情勢」ジェトロ・アジア経済研究所『アフリカレポート』2019年 No.57、pp.47-51、Online : https://www.jstage.jst.go.jp/article/africareport/57/0/57_47/article/-char/ja/

_____. 牧野久美子「時事解説：「Must Fall」運動を振り返る-2015年の南アフリカにおけるプロテストの軌跡-」ジェトロ・アジア経済研究所『アフリカレポート』2016年 No.54、pp.44-49、online : https://www.jstage.jst.go.jp/article/africareport/54/0/54_44/article/-char/ja/

(データベース)

Refworld

_____. アムネスティ・インターナショナル「South Africa: Key Human Rights Concerns in South Africa: Amnesty International's Submission to the UN Universal Periodic Review, May-June 2012 [「南アフリカ：南アフリカにおける主な人権問題。国連普遍的定期的審査へのアムネスティ・インターナショナルの提出物、2012年5月～6月]」(2012年2月7日)、online :

<https://www.refworld.org/country,COI,,,ZAF,,4f34d8242,0.html>

_____. 英国内務省「Country of Origin Information Report - South Africa [出身国情報報告 - 南アフリカ]」(2010年7月9日)、online :

<https://www.refworld.org/country,COI,,,ZAF,,4c3ac61d2,0.html>

_____. 国境なき記者団「South African reporters attacked covering protests, broadcaster suspends journalists [南アフリカの記者らが抗議デモの取材で攻撃を受け、報道機関はジャーナリストらを停職に]」(2016年6月24日)、online :

<https://www.refworld.org/country,COI,,,ZAF,,579afe5715,0.html>

The Armed Conflict Location & Event Data Project (ACLED)、online :

<https://acleddata.com/#/dashboard>

ecoi.net、online : <https://www.ecoi.net/>